

博進堂ゼミナール開催報告



東京会場



新潟会場



仙台会場



札幌会場



2024博進堂ゼミナール、今と上昇未来を切り拓くアルバムづくりが、8月をもって全ての会場で終了いたしました。ご参加いただいたみなさま、講師のみなさま、関わっていただいた全ての方に感謝申し上げます。東京・新潟・仙台では、山内佑輔氏（新渡戸文化学園教師）を講師としてお招きし、アイスブレイクなどを取り入れたワークショップ型の講演を開催。参加者同士で交流しながら学校アルバムについて考えるという、終始和やかな場をご提供いただきました。山内氏から「学校アルバムの現状を受け止め、自分ごととなった。教育の方面にも何か繋げていけそう。」と、お言葉をいただき、これから当社との共創でワクワクが始まりそうです。また、今年は札幌市内で札幌営業所30周年の記念ゼミナールを開催いたしました。講師に内田勝人氏（内田写真館）をお招きし、多学年に向けた活動・商品の多角化などについてご講話いただきました。30年を振り返り、支えてくださったみなさまに改めて感謝申し上げます。

ゼミナール参加者のみなさまからは、とても満足したというお声を多くいただきました。今回のゼミナールが少しでもお役に立つことができたのなら幸いです。アルバムの価値を高めるという目に見えない課題をこれからもみなさまと一緒に考えていけたらと思います。ありがとうございます。

営業部営業企画 野口基幸

「2024夏工場見学会」開催

7月23日・8月2日・9月4日に「2024夏工場見学会」を開催しました。

この見学会は印刷業界に焦点を絞り、同業他社様・印刷関連会社社様に博進堂の生産活動をご覧いただく試みです。

1回目・2回目ともに定員を上回るお申し込みをいただき、急遽3回目を開催するほどの盛況となりました。

当日は、実演を交えて当社設備をご紹介させていただき、みなさまに大変興味を持ってご覧いただきました。

参加企業様同士の活発な交流も見られ、今回のイベントが業界の活性化に微力ながらお手伝いできたようで嬉しく思います。

博進堂ではイベント以外にも随時、企業・個人問わず見学を受け付けております。興味がある方はお気軽にお問い合わせください。

経営戦略本部 青木あかね



皆さまのお声をお待ちしています！



はくしんどう時間

「はくしんどう時間」は博進堂の「今」をお届けするニュースレターです。

もくじ

・博進堂ゼミナール開催報告

・「2024夏工場見学会」開催

・「長岡復興の恩人

〜三島徳二郎物語〜」の発刊

・博進堂現場人

・新潟おすすめグルメ

・編集後記

おすすめグルメ紹介！
新潟
おにぎり

新潟グルメを愛する青森出身の編集
部員まいまいです。秋と言えば新米の
おいしい季節。お米と言えばそう、新
潟県！ そこで今回は、絶品おにぎりが
いただけるお店をご紹介します！ おにぎり片
手に食欲の秋を満喫してみてくださいは？



新潟市
西蒲区

okome stand HACHI HACHI+
ロケーション抜群のお米屋さんのおに
ぎりは、大きめサイズで具もたっぷり。
食べ応えのあるごちそうおにぎりです。



南魚沼市

FARM FRONT
世界最大のお米コンクール金賞受賞のコ
シヒカリを使用し、素材本来の美味しさを
味わえる土鍋炊き塩むすびは絶品です。



三条市

豚汁米
選べるおにぎりの種類が豊富で、何を
食べようか悩む時間も楽しい。店名の
通り、具沢山の豚汁も絶品です。

編集
後記

通勤で目にする田んぼには、エサを求めている
のか白鷺をよく目にするようになりました。つい
先日までのふさふさの稲は新米となり、すっかり
秋だなあと実感します。体調を崩しやすい季節
となりました。みなさまどうぞご自愛ください。

今回のテーマは「学園祭の思い出」!

今年、高1娘の文化祭に参戦！各クラスの出物のクオリティにびっくり!!
先生方によるパフォーマンスも楽しくて、満喫の1日でした。(うちだ)

高校時代、学園祭での優勝が何よりの名誉でした。ただし、「優勝クラスは浪人
生が1番多い」というジンクスもしっかり守りました・・・(れい)

毎日遅い時間まで友達と騒ぎながらの準備期間。普段話さないような子とも仲良
なったりして、なんだかんだ学園祭までの期間が一番青春だった!(まいまい)

毎年、他校にいた友達や彼女の学園祭に行けることが楽しみでした。
学校によって特徴の違いがあり、新鮮な気持ちになりました。(ゆうじ)

表紙PHOTO

秋の空気はなんだか心まであたたかくしてくれるような
そんな気配と香りがする。 制作部 畑中舞



はくしんどう時間 vol.18
発行：株式会社 博進堂
TEL：025-274-7755
発行月：2024年10月
題 字：小笠原 麗(アルバム営業)

博進堂 新入社員の「現場人」インタビュー

制作部
小坂 智子 さん

インタビューをするのは、
今年入社の新人社員たちです。
取材を経て、学び、感じた
「現場人(ゲンバビト)」を
おとどけます。



イラスト：原野志帆

今回の「現場人」は、2016年に入社されて今年で8
年目の制作部・小坂智子さんです。小坂さんは、入社当初
からWEBサイトに関わるお仕事を務め、現在はWEB
ディレクターとして制作全体の進行管理を務めていま
す。ちなみに当社WEBサイトを手掛けたのも小坂さん
です。自称人見知りの小坂さんですが、WEBディレク
ターとして、企業や官公庁、写真館など多様なお客様と直
に接し、そのご要望を深く知ることによって心配っているそ
うです。特に印象深い仕事は、5年前に前任者から引き継
いだ大きなWEBサイトのリニューアルだそうです。先
方の担当者も代わるなど苦労がありつつも、提案力が身
についたと語られました。

また小坂さんは、昔から野球やバレーボールなどス
ポーツ中継を見るのが趣味で、今年開催されたパリ20
24オリンピックを楽しみながら観戦したそうです。

人に向き合う。小坂さんのこの姿勢こそ、人と人が直接
顔を合わせないインターネットで仕事をやる人間に求め
られることだと学ばせていただきました。(板垣・松岡)

WEBサイト制作といえば複雑でよくわからないものという
印象がありましたが、その根底にはお客様と作り手の思い
があることを知り、身近なものに感じられました。お客様と
の向き合い方は、営業として目指すべきだと思いました。
板垣 薫(営業部)



普段日常でもよく目にするWEBサイトが、どのような方た
ちの力によって作られているのかを深く知ることができま
した。とても学びになり、またこれからWEBサイトを開くと
き、そこに携わった人たちに思いを馳せようと思います。
松岡 正也(営業部)



「長岡復興の恩人
〜三島億二郎物語〜」
の発刊

三島億二郎は、幕末から明治にかけて
河井継之助、小林虎三郎とともに「長岡の
三傑」と称されている人物ですが、残念な
がらその知名度は高くありません。三島
億二郎は戊辰戦争で焼き尽くされた長岡
の復興に尽力し、第六十九国立銀行(現第
四北越銀行)・長岡洋学校(現長岡高校)・
長岡公社病院(現長岡赤十字病院)を創設
し経済、教育、医療福祉など、近現代の長
岡の基礎をつくった人物です。

この三島の功績を後世に伝えることを
使命に結成された三島億二郎顕彰会様よ
り小中学生向けの「三島億二郎物語」の制
作を承りました。ライター石坂智恵美氏
に執筆を依頼、郷土史研究者様の支援をい
ただきながら仕上げた本作は、ドラマ仕立
での構成で読者を引き込みます。

7月の発刊後に長岡市内の小中学校に

「長岡復興の恩人
〜三島億二郎物語〜」

- ◆価格
1,000円(税別)
- ◆お問い合わせ
(有)めぐみ工房
〒940-0032
新潟県長岡市干場
1丁目2-17
TEL 0258-32-7427

配布、読書感想文コンクールの募集が行
われました。11月には出版記念講演会も予
定されています。

戊辰戦争で河井とともに戦いながらも
生き残ってしまった三島億二郎は、人生を
長岡に捧げました。晩年には北海道開拓に
挑んでいます。心にはいつも、長岡藩の教
え「常在戦場」「剛健質朴」が響いていたの
でしょう。またその教えは、心ある長岡人
に今も伝わっているように思います。

C & A 営業 野澤高広